

## (準備研究)

# 上田市における自殺予防施策の形成評価 —ゲートキーパー養成研修の効果評価と自殺未遂者支援の プログラム理論の構築を柱として—

塩津博康\*

小高康正\*\*

Hiroyasu SHIOTSU

Yasumasa KOTAKA

### 研究実績の概要

本助成研究は、形成的評価手法としてのプログラム評価方法論が、実用的なソーシャルワーク・コンサルテーションの一つの形として可能性があることに着目して、実際に本学が所在する長野県上田市の具体的な自殺予防施策に対し、試行的に適用を試み、将来の上田市の自殺予防施策の形成に寄与することを目的として行う開発研究である。上田市の実施している施策として取り上げた自殺予防施策は、1)ゲートキーパー養成研修、2)自殺未遂者支援の二つであったが、研究開始後における政策的な優先順位の変更という諸事情を踏まえ、今年度は、1)ゲートキーパー養成研修を中心にプログラム評価を実施し、2)自殺未遂者支援については将来研究に向けての準備を進めた。以下に成果を報告する。

#### 1)ゲートキーパー養成研修

最初に、Rossi et al.(2004)の枠組みを用いて取り組みを可視化した(プログラムのセオリー評価)。ここでは紙幅の都合により掲載しないが、既に塩津(2018)で公表しているので具体的な研究成果はそちらを参照して頂きたい。次に、この可視化された取り組みの効果の検証を行った(プログラムのアウトカム評価)。当初の計画通り、ゲートキーパー自己効力感尺度を用いて、前半参加者を介入群として後半参加者を統制群として比較する準実験デザイン(ウェイトिंगリスト法)を適用した。分析結果は、仮説通りであった(図1;前半参加者は1回目測定と2回目測定の間、後半参加者は2回目測定と3回目測定の間研修を受講)。ゲートキーパー養成研修は、上田市として今後さ

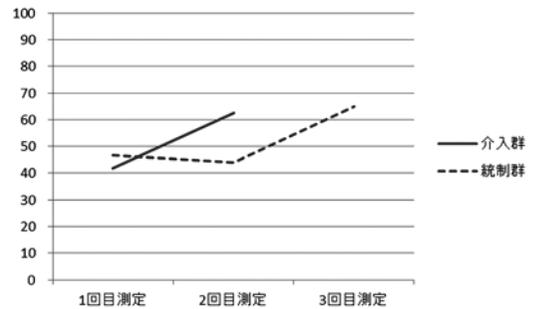


図1 自己効力感尺度得点平均点の変化

らに力を入れていくべき柱となる自殺予防施策の一つであり、より一層自殺予防に有効な施策とするために研修修了者に対するフォローアップの取り組みが次なる検討課題であるとした。なお、本研究成果は、2018年9月に開催される日本混合研究法学会(於:順天堂大学(千葉県浦安市))でも発表をした。

#### 2)自殺未遂者支援

信州上田医療センターの取り組みを参考に未遂者に対する支援的な介入のインパクトについての仮説を検討した。加えて自殺未遂者支援に積極的な自治体の取り組み事例を報告した文献のレビューを行った。以上により明らかになったのは、自殺未遂者支援は、市町村を超えた単位で実施する方がよい施策であり、上田市単体の自殺予防施策として位置づけるには、コストの観点からも相当の難しさがあるということである。そして、何よりも現在上田市の自殺予防施策の全体像が明らかでないため、まず最初にこれを明確に描

く必要があるということである。そこで限定的であった本助成研究の課題を、上田市の自殺予防施策の全体像をロジックモデルの形式で整理するという課題へと修正した。その上で今年度は、関係者へのヒアリング、会議資料の検討、先行研究レビュー、精神保健福祉課程専攻学生とのディスカッションを経て、図2のようなロジックモデルを作成した(自殺未遂者支援は、既存の取り組みの「こころの相談事業」の中に位置づけて整理した)。今後は、市内の自殺予防に関わる関係者を対象にフォーカスグループディスカッションなどを行い、このロジックモデルを完成させ共有していくこと

が次なる課題となる。なお、当初はRossi et al.(2004)の枠組みを用いて整理するとしていたが、考慮の末ロジックモデルの形式で整理することとした。今回の経験からより広範なプログラム、いわゆるポリシーレベルのプログラムの全体像を記述するには、ロジックモデルの形式が適しており、各施策についてより詳細に記述する場合には、Rossi et al.(2004)の枠組みが適しているという示唆を得た。このことは、ソーシャルワーク・コンサルテーションの方法論の精緻化に対して重要な含意があると考えられる。

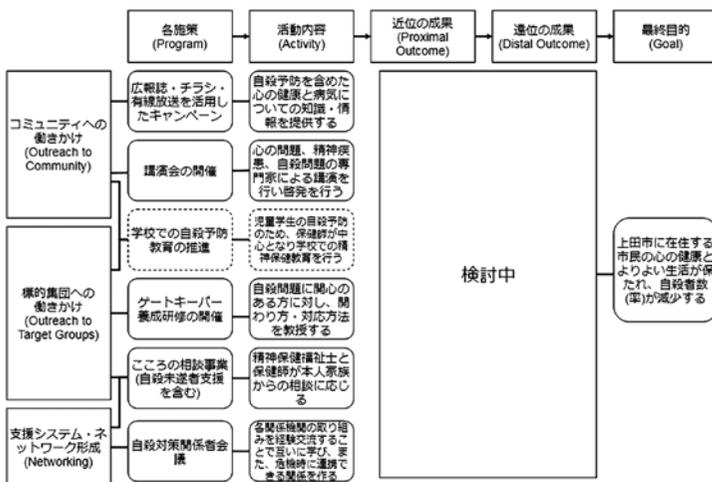


図2 上田市の自殺予防施策の全体像(ロジックモデル)

研究発表(平成29年度の研究成果)

(雑誌論文) 計( 1 )件

著者名	論文標題				
塩津博康	自治体主催「自殺予防ゲートキーパー養成研修」に対するプログラム評価の実施—PDCAサイクルを通じた「取り組みの改善」を目指して—				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	
長野大学紀要	無し	39	2018	11-20	

(学会発表) 計( 1 )件

発表者名	論文標題		
塩津博康	自治体主催「自殺予防ゲートキーパー養成研修」を対象としたプログラム評価		
学会等名	発表年月日	発表場所	
第4回日本混合研究法学会年次大会	2018年9月29日	順天堂大学	